

上小地域の概況について

1 地 勢

県の東部、千曲川中流部に位置し、上田・東御の2市、長和町と青木村の4市町村からなり、面積は905.34km²で、県総面積の6.7%を占めている。

地形は、千曲川右岸は、烏帽子火山の流出で緩傾斜をなし、左岸西部は、平坦地で塩田平と呼ばれ、南部の依田窪地域は、和田峠に源を發する依田川の流域に存している。

2 人 口

平成24年4月1日現在、200,272人で、県総人口の9.4%を占めている。平成22年国勢調査時に比較すると0.7%の減少となっており、上田市は0.5%減、東御市は1.0%減、長和町は3.3%減、青木村は1.2%減となっている。

また、高齢化率は26.8%と、県平均27.1%とほぼ同程度であり、全県の状況と同様に上昇傾向を示している。特に、町村部においては34.2%と高齢化が進行している。

3 交 通

管内を北流する千曲川にほぼ並行して上信越自動車道、北陸新幹線、しなの鉄道及び国道18号が走り、市街地・商工業地帯を形成するとともに、長野地域と佐久地域、首都圏とを結ぶ重要な交通網を構成している。また、千曲川の西側に広がる塩田平には上田電鉄別所線が通っている。

現在、地域の一体化と交流を促進する「上小地域30分(サンマル)交通圏」の実現に向け、中央市街地へのアクセス道路(国道144号、県道長野上田線など)や、市街地を迂回する環状道路(国道18号上田バイパス、国道143号など)における市街地への通過交通の流入を抑制する道路)の整備が推進されている。

4 気 象

管内の平均年間降水量は、県内の主な地点の1,636mmに対し、約865mmであり、年間を通じて降水量が少ないため、穀倉地帯である塩田平では、水不足を補うために、古来よりため池を造り、また、依田川・千曲川から大規模な揚水を行いかんがい用いている。

年平均気温は12℃前後であるが、最高気温と最低気温の差が大きい典型的な内陸性の気候である。

5 産 業

農業は、少雨多照な気候条件と、標高 420m から 1300m の標高差を巧みに活かし、全域にわたって多様な作物が生産されている。「長野県食と農業農村振興計画」の上小地域の発展方向作成経過を踏まえ、多様な担い手が地域農業を支える仕組みづくり、恵まれた気象条件を活かした総合供給産地づくり、食と結びつけた農業・農村づくりを進めている。

林業は、県内有数のカラマツ林業地帯であることから、カラマツなどの地域材利用促進を図るため、間伐の実施や、管内木材加工業者への木材の安定供給を推進していく必要がある。また、松くい虫の被害が多い地域であり、その対策が課題となっている。

商業は、上田市、東御市を中心に商業圏を形成しているが、買い物客が地域外や郊外の大型店に流出しており、中心市街地の商店は厳しい状況にある。なお、上田市では多様な都市機能がコンパクトに集積した集約型都市構造への誘導と個性あふれる地域づくりを目標にまちづくり計画を策定し、中心市街地の活性化を進めている。

工業は、輸送用機械器具製造業を中心に加工組立型企業が多く集積している。管内には、信州大学繊維学部をはじめ、財団法人長野県テクノ財団浅間テクノポリス地域センターや AREC プラザ等が存在し、産学官連携による新技術開発や新産業の創出を推進している。

観光は、国宝や重要文化財などの名所・旧跡、高原や温泉地など多彩で魅力的な観光資源を生かし、スポーツ・音楽・健康づくりなどを融合した魅力ある滞在型観光を推進している。

6 市町村の概況

(1) 面積、人口等

市町村名	面積	世帯数	人口			人口密度 (1km ² 当たり)	1世帯 当たり 人口	22年国調 人口対比
			計	男	女			
	km ²	世帯	人	人	人	人	人	%
上田市	552.00	61,377	158,775	77,256	81,519	287.64	2.59	99.5
東御市	112.30	10,858	30,389	14,922	15,467	270.61	2.80	99.0
長和町	183.95	2,438	6,553	3,215	3,338	35.62	2.69	96.7
青木村	57.09	1,594	4,555	2,194	2,361	79.79	2.86	98.8
計 (A)	905.34	76,267	200,272	97,587	102,685	221.21	2.63	99.3
県計(B)	13,562.23	799,263	2,134,738	1,037,060	1,097,678	157.40	2.67	99.2
(A)/(B) %	6.7	9.5	9.4	9.4	9.4			

(注) ○面積は、国土地理院による(23.10.1現在)

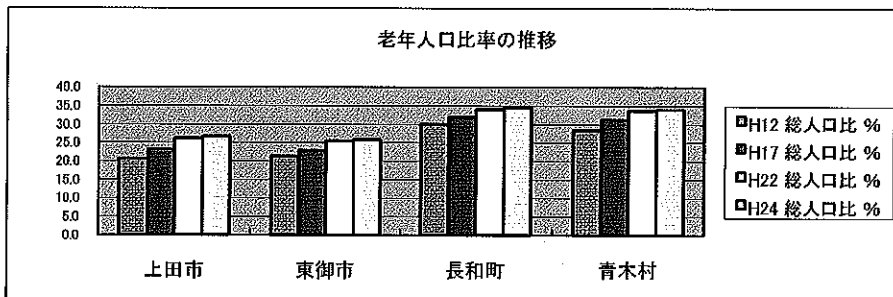
○世帯数・人口は、毎月人口異動調査による(24.4.1現在)

(2) 老年人口(65歳以上)の推移

市町村名	12.10.1(国調)		17.10.1(国調)		22.10.1(国調)		24.4.1	
	老年人口	総人口比	老年人口	総人口比	老年人口	総人口比	老年人口	総人口比
	人	%	人	%	人	%	人	%
上田市	34,500	20.7	37,783	23.1	41,454	26.1	41,955	26.6
東御市	6,571	21.2	7,180	23.0	7,817	25.5	7,882	25.9
長和町	2,343	30.0	2,331	31.9	2,309	34.1	2,261	34.5
青木村	1,406	28.5	1,497	31.4	1,551	33.7	1,542	33.9
計 (A)	44,820	21.3	48,791	23.6	53,131	26.3	53,640	26.8
県計(B)	475,127	21.4	521,984	23.8	569,301	26.5	576,170	27.1
(A)/(B) %	9.4		9.3		9.3		9.3	

(注) ○国勢調査及び毎月人口異動調査による

○調査時点以降の合併市町村については合算して記載した

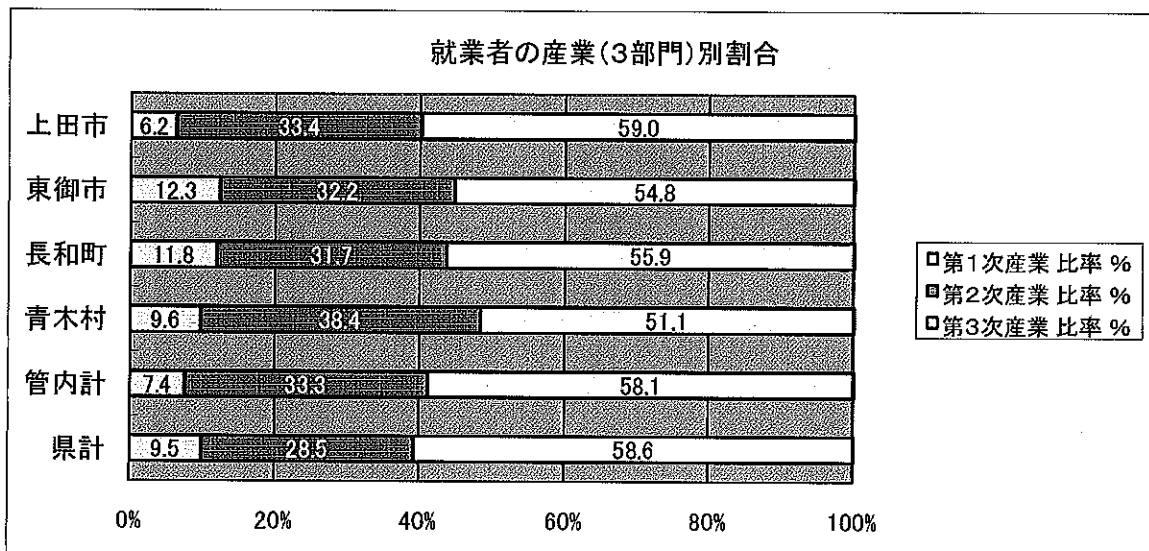


(3) 産業別就業人口

市町村名	就業人口総数	第1次産業		第2次産業		第3次産業	
		就業人口	比率	就業人口	比率	就業人口	比率
	人	人	%	人	%	人	%
上田市	76,026	4,677	6.2	25,421	33.4	44,893	59.0
東御市	15,344	1,880	12.3	4,939	32.2	8,411	54.8
長和町	3,132	371	11.8	993	31.7	1,752	55.9
青木村	2,135	204	9.6	819	38.4	1,091	51.1
計 (A)	96,637	7,132	7.4	32,172	33.3	56,147	58.1
県計(B)	1,091,038	103,387	9.5	310,884	28.5	639,888	58.6
(A)/(B)%	8.9	6.9		10.3		8.8	

(注) ○平成22年国勢調査による(22.10.1現在)

○分類不能があるため、就業人口の計と総数は一致しない



(注) ○分類不能があるため、比率の計が100%にならない場合がある

(4) 農林業の状況

市町村名	農家数		耕地面積	1戸当たり 耕地面積	森林面積					合計
	うち専業 戸	戸			国有林	民有林			計	
			人工林	天然林		その他				
上田市	7,327	792	5,530	75.5	12,172	13,820	12,640	688	27,148	39,321
東御市	2,547	428	2,440	95.8	3,754	1,040	844	27	1,911	5,665
長和町	825	51	942	114.2	8,241	4,852	2,665	106	7,623	15,864
青木村	608	66	456	75.0	984	2,260	1,360	44	3,664	4,648
計 (A)	11,307	1,337	9,368	82.9	25,152	21,972	17,508	866	40,346	65,498
県計(B)	117,316	16,742	111,000	94.6	377,392	329,976	331,764	20,262	682,002	1,059,394
(A)/(B)%	9.6	8.0	8.4	87.6	6.7	6.7	5.3	4.3	5.9	6.2

(注) ○農家数は、2010農業センサスによる
 ○耕地面積は、作物統計調査(2011年7月)による
 ○森林面積は、長野県民有林の現況(23.4.1現在)による
 (四捨五入のため、加算値と計は必ずしも一致しない)

(5) 商工業の状況

市町村名	工業事業所数	製造品出荷額等	商店数	商品販売額
		百万円		百万円
上田市	430	414,671	2,008	463,125
東御市	101	112,509	307	57,435
長和町	27	5,306	72	4,249
青木村	20	8,803	34	1,688
計 (A)	578	541,289	2,421	526,497
県計(B)	5,583	5,638,337	27,362	5,832,187
(A)/(B)%	10.4	9.6	8.8	9.0

(注) ○工業事業所数、製造品出荷額等は、工業統計調査による(22.12.31現在)
 ○商店数、商品販売額は、商業統計調査による(19.6.1現在)